

# 環境の都ニュース

2011. 7. 1 NO. 58

“環境の都”をめざして  
環境都市宣言

発行：長岡京市  
環境の都づくり会議  
発行責任者：江川 宗治  
編集担当者：山本 雅夫

## 『環境講演会を終えて』

先日6月11日に「国際森林年記念第5回環境講演会」を開催しました。講師は、京都府立大学の田中和博教授で、「地球温暖化問題と森林、里山保全、木材の地産地消」というテーマで、「講演頂きました」。

田中教授は、森林計画学をご専門とされており、特に森林の成長モデルの研究をされておられました。森林の成長が場所によって大きく異なることに興味を持たれ、その後、コンピュータで地図情報を解析するGIS（地理情報システム）の研究に取り組み、今日では森林GISの第一人者として活躍されている方です。

「国際森林年記念」と銘打った今年の講演会には、まさに適任の方で、講演の内容もわかりやすく、非常に興味深いものでした。日本は、国土の約3分の2が森林であるにも関わらず、木材の自給率は約20%程度であるそうです。この自給率の低さは、円高による安価な外材の大量輸入が原因となっています。



この外材の大量輸入によって、国内の林業の採算性が悪化し、林業に携わる方が減少してしまったのです。長岡京市にも、地域の約4割を占める「西山」と呼ばれる山地領域があり、市内の西側に広がっています。西山も他の山と同様、手入れがされず、放置されている木が存在しているのが現状です。放置された山は、温暖化の原因とされている二酸化炭素の吸収の働きも低下し、また大雨等の時に保水能力が低いために土砂災害を起こしやすくなっています。しかし、長岡京市では、現在、このままではいけないと立ちあがって率先して動いているボランティアの方、企業の方、本場に多くの方々や西山を何とかするために手を貸してください。この取り組みを絶やすことなく、継続し、拡げていくためには、もっともっと多くの方の手が必要となっています。この講演会を通じて、少しでも森林に、また西山に興味を持って頂けたならば幸いです。

環境政策推進課  
長沼美菜

## 里山再生PJ



### 現代版里山整備・実験地の鹿防護柵張り

斜面が急なので器材を尾根筋へ担ぎ上げ高いところから下に向かって張る。1mの杭を50cm地面に刺して簡単に抜けないよう番線を杭にさしてポールを差し込む。支柱はおおよそ4m間隔で立ててネットを張る。ネットの裾から動物が入らないよう4mに7～8本裾をペグ止めをする。

- ・6月7日 9時～15時 ・西山キャンプ場・鉢伏池上池
- ・参加者 里山再生PJ;9名、乙訓の自然を守る会;2名、森林総研;8名  
市役所;2名、ロープメーカー;2名
- ・主催;西山森林整備推進協議会
- ・報告;里山再生PJ; 加藤

### 第8回里山工作教室 6月11日(土)こらさ(旧婦人教育会館)学習室

・参加者 計22名 公募参加者 11名 里山スタッフ 11名  
今回は竹の鳥かごと、写真立の2作品をつくりました。

・写真立は竹(バーナーで焼き加工)、ヒノキの皮、ケヤキの皮、松、つばき、りょうぶなどの木片を利用。

・鳥かごは、竹丸ひご、竹角ひご、桜(止まり木)、まつぼっくり(中の鳥)を使いました。  
(右は作品で中に3羽居ます)

幸い両作品とも好評で、ティータイムをはさんで和やかな雰囲気でも熱心に取り組まれました。京都新聞の取材があり、翌日の洛西版に「里山資源有効活用を」の見出しで掲載されました。

報告;里山再生PJ 加藤



### 長岡京市第10小学校遠足サポート 5月19日(木)西山キャンプ場

参加児童数 5年生2クラス;60名 先生;2名 市役所関係;3名  
応援者(里山再生PJ);10名

・光明寺、野山経由でキャンプ場に入りました。11時ごろ児童がキャンプ場に到着し、大きく2グループに分かれ、火おこし炊事担当と竹の食器作り担当で作業をして、12時を少し回った頃にカレーが無事でき、大喜び。昼食後はヌタ場に行き、ケモノ道を通って第1鉄塔に出てキャンプ場に帰るコースを案内しました。

・イノシシがヌタ場に来て泥をかぶるのはなぜか、

・オオバトノボソウが環境が整うまで発芽を待っていることの不思議さなどを話しました。

参加した人から「家族では行けない場所を回り大変楽しかった」との感想をいただきました。

報告;里山再生PJ 加藤

≪ヌタ場;動物が体表に付いている寄生虫などを落とすために泥を浴びる場所≫



## 竹林再生PJ

### 4/30(土)第五小のすくすく教室

長天でタケノコ掘り体験学習

子供達55名、父兄25名、世話役16名が参加。

親子でタケノコ掘り、掘れた時は、歓声が上がっていました。皆さん初めての体験だったので喜びも大きかったようです。

みんなで記念撮影、お土産それなりにあってよかったです。

報告 竹林再生PJ 湯川



## 花を咲かそうPJ

緑のサポーターが今年から着手した中央公民館の植栽です。池に面したベンチは以前から悪名高く喫煙ベンチ化されていました。まっ先に着手したのがこのベンチ、現在ペチュニアが咲き誇るベンチにはタバコの匂いを寄せ付けません。

題して「紫煙ベンチ 華園ベンチに蘇える」

報告 花を咲かそうPJ 湯川



## ビオトープPJ

5/14(土)ムラタビオトープにて第6小のすくすく教室の子供達に自然観察と水遊びを体験学習してもらいました。

参加者は子供達18名、父兄7名、世話役2名、市職員2名、村田製作所社員1名、環境スタッフ4名  
・最初に会社の説明、商品の説明、少し難しかったかな  
・子供は待たなして水の中へ、気温30度、水温20度少し水の中は冷たかったようです。(写真左)  
・本日の成果、ザリガニ10匹、メダカ5匹、南沼エビ120匹、カワナナ2匹。まずまずの成果とお土産を前に記念撮影。(写真右) 報告;ビオトープPJ 小根田



6/11(土)ムラタビオトープで第4小のすくすく教室の子供達に自然学習を実地しました。

参加者は子供13名、父兄2名、世話役2名、市職員1名、環境メンバー4名  
・最初に村田製作所が何を作っている会社か、どんな所で使われているか、クイズ方式で勉強。  
・子供は自然が大好き、ビオトープの中にジャブジャブと入っていきます。(写真左)  
今日の釣果はザリガニ23匹、メダカ19匹、沼エビ50匹とまずまずの成果、お土産のメダカ、ザリガニ、沼エビの前で記念撮影。(写真右)  
報告;ビオトープPJ 小根田



## 環境教育ミーティング

- 55回 5月26日「電気自動車元年」の題で林謙佐郎さんに、リチウムイオン電池の高性能・コンパクト化の開発談から、それによる電気自動車普及への展開、更に家庭用電源備蓄への展望。しかし技術(者)の(中国)流出と国家戦略不足への危機感など多くの話をいただいた。戦略課題は多いが日本技術の役割はまだ大きいとのこと。
- 56回 7月21日「里山林の整備を目指して」の題で中佐昌弘さん(京都府林業吏員から西山整備推進協議会を担当し、現在は人事交流で長岡京市農政課勤務)に西山地域里山林の取り組み経過と今後をお話いただきます。長岡京市立中央公民館で19~21時に開催予定。聴講と質疑応答で「里山林」に親しむ機会を試してみませんか。 文;山本

## 環境教育PJ



### 環境と文化・京都会議 第1回フォーラム (6月18日バンビオにて)

「ガラシャのロザリオ・緑の川・小畑川」の題にて西村日出男さん(写真左)が講演。

小畑川をガラシャのロザリオにたとえて「心に優しく美しいふるさとの風景」であってほしい、そのためには小畑川とその流域のことを知り、

愛する気持ちが大切。そこから美しくする手段・行動・実践が生まれる。

\* \* 「環境と文化・京都会議」は京都生涯教育研究所主催の「環境と文化・京都会議2011」参加者を中心に「京都から世界へ環境と文化発信」を考える府内の皆さんの集いです。(右関連記事) 文;山本

### 京都新聞 2011年(平成23年)5月25日 水曜日



40周年記念事業について話し合う京都生涯教育研究所のメンバーら(京都府が主催)

・40代からの社会活動支援  
・グローバル京都プロジェクト  
・28日から記念講座  
京都生涯教育研究所の設立40周年を機に、10代からのいきいきシニア社会活動支援プロジェクトと「グローバル京都プロジェクト」の2つの連携講座が、それぞれ5月21日と22日、京都市内や長岡京市などで開かれる。  
社会活動支援講座の第1回は5月21日午後1時から、京都市下山区の時鐘センターで、第2回は5月22日午後6時から、長岡京市市民会館で、それぞれ開かれる。第3回は7月23日午後6時から、長岡京市市民会館で、開かれる。この3回の講座は、京都生涯教育研究所の設立40周年を機に、10代からのいきいきシニア社会活動支援プロジェクトと「グローバル京都プロジェクト」の2つの連携講座が、それぞれ5月21日と22日、京都市内や長岡京市などで開かれる。

## 環境の都づくり会議 トピックス

「環境の都づくり会議」の江川代表(写真右)が京都府から「環境保全功労者」表彰を受けました。6月16日、京都府庁開庁記念式にて受賞。京都府および長岡京市で環境改善への多角的な取り組みおよび市民活動推進が評価されたものです。受賞の功績と推薦理由は以下のとおり。

**受賞の功績:**平成17年に第2期京都府地球温暖化防止活動推進に委嘱され、以降、継続して推進員活動を行っている。地球温暖化対策地域協議会である「長岡京市環境の都づくり会議」の代表として、保育園への市民共同おひさま発電所の設置、里山の再生、環境教育、ビオトープづくりなど様々なプロジェクトの推進に大きく貢献している。

**推薦理由:**長岡京市環境の都づくり会議は、約2年をかけて市民参加で作成した長岡京市環境基本計画を推進するために設立された組織である。計画の素案をつくる段階から市民や事業者が積極的に参加し、計画推進の段階でも、計画作りに参加したメンバーが中心となり、多様な主体を巻き込んでパートナーシップで対策を進めるという一連の流れは先進的であり、他地域のモデルとなるものである。代表としてこれを担う氏の功績は大きい。



## エコチームPJ

### 自転車発電とソーラー自動車



ゆりかご保育園 おひさま発電所 設置8周年環境イベントに協力しました。快晴に恵まれた6月3日 同園(高橋由紀子園長)でおひさまとみずとつちに感謝する環境イベントが行われました。屋内では園長さんのお話と長岡京市環境の都づくり会議の江川代表の一言、続いて保育士さんによるだしものがありました。おひさまと貯めておいた雨水をたいせつに使うミニトマトを育てる手作りの寸劇を見ました。6ヶ月から3歳までの園児ですがみんながよく聞き、おひさま・みずの大切さを遊びを通して感じ楽しんで答えることができました。

芝生の園庭に出て、環境の都づくり会議・エコチームといっしょにシャボン玉あそび・自転車発電で動く新幹線・ソーラー自動車・手回し発電で飛び返る犬や傾斜した台

の上をカタコト歩くカラフルなアヒルなどでおおいに楽しみました。最後に各チームで一苗づつミニトマトをプランターに植えました。はやく寸劇で見た赤い実ができればいいな。

報告;エコチームPJ 中田



木製ヒヨコさんたちと遊ぶ

## 環境の都づくり会議

環境の都づくり会議 総会(5月15日)

総会では各PJから前年度の活動結果と今期計画を報告。

竹林再生PJがビオトープPJから派生し承認された。まち歩きPJは休止中。

役員人事は江川代表が続投、エコチームPJリーダーに田原、会計に神山、広報に山本が選任、その他は留任。

総会后、カフェエボカにて懇親会。(写真左)ごらんの通り、和やかに和気あいの雰囲気です。皆さん「まず自分が楽しくなければ、相手が楽しい筈は無い」をモットーに子供に負けず、楽しく学習(?)、実践をしています。是非、参加してください。参加してから出来ること、やりたいこと、有意義なことを探しましょう。

文;山本



## ★★★ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ★★★

プロジェクト名	内容	連絡先	TEL
里山再生PJ	森林ボランティア他	加藤	951-0933
環境教育PJ	環境教育ミーティング	西村	952-3718 =FAX
エコチームPJ	地球温暖化防止への取り組み	田原	953-1696
ビオトープPJ	ビオトープや川あそび	小根田	957-4081
花を咲かそうPJ	街角花いっぱい運動	湯川	952-5505
まち歩きPJ	市内を歩いて再発見(地元学入門)	柳沼	090-1954-9669
竹林再生PJ	竹林再生	渡辺	090-7755-9238

「YAHOO」又は「GOOGLE」で「環境の都ニュース」と検索しますと、きれいなカラー紙面の「環境の都ニュース」を楽しむ事が出来ます。是非、ご覧下さい。

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。  
協賛金 一口年間1000円(一口以上)

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。情報や「ニュース」の感想なども下記の事務局までお寄せ下さい。

【事務局】長岡京市環境政策推進課 〒617-8501長岡京市開田1-1-1  
電話: 075-955-9542(直通) Fax: 075-951-5410

Email: kankyouseisaku@city.nagaokakyo.kyoto.jp

### 編集後記 (文;山本)

本当に節電が必要な季節が到来。震災当初は東日本限定、しかし福島原発の脆弱さは他の原発稼働に制約をもたらした。全国で原発を頼らず、節電が必要に。まず、13~16時の間の節電が必要で、家庭ではエアコン・TV・クリーナーの使用を抑えることが有効ですが、猛暑での熱中症の心配も有ります。体力に余裕有る御家庭は、その時間は大型商業施設か公共施設の空調下に避難すれば、5軒に1軒が避難すれば家庭用のエアコン20%は稼働が削減できます。(苦笑)